

2002年11月

## 第78回行動計量シンポジウム案内

### 「因果をめぐる統計的アプローチ」

期 日：平成15年1月25日(土) 10:00～16:30

場 所：東京大学教養学部アドヴァンストラボ4F

(駒場キャンパス地図: <http://www.c.u-tokyo.ac.jp/campus/index-j.html>)

アドヴァンストラボは、教養学部正門の左奥方向、3号館の奥の新築の建物です。

**【開催趣旨】** 因果関係を見出すことが、統計的実験や準実験、あるいはある種の多変量解析(構造方程式モデルなど)の目的であるが、いろいろな分野・いろいろな方法で言われている因果関係の意味を相互に吟味することはあまりなかったのではないかと思われる。

相互に吟味検証するときのプラットフォームは、確率概念による因果関係の整理であり、これは科学的にも正当な因果関係の理解である。本シンポジウムでは、このような広いパースペクティブの下に、実験と準実験における因果効果の推定、構造方程式モデルにおける因果関係の検証の意味、確率モデルによる因果の発見などの意味を批判的に吟味したい。さらに、これらの相互吟味を通じて、実際のユーザーに対するアドヴァイスをも生み出すことを本シンポジウムの目的とする。

#### 【プログラム】

企画・司会 繁榎算男

#### 講演題目と概要

1. (10:00～11:00) 確率と因果 (数内稔、東京大学)  
確率概念によって、因果関係を定義する。
2. (11:00～12:00) 因果効果の統計モデル (繁榎算男、東京大学)  
因果効果を階層モデルの文脈で捉え、実験、準実験、相関研究における因果効果のモデルを定式化する。

12:00～12:15 午前の内容の質疑討論

(昼食休憩)

3. (13:30～14:30) 構造方程式モデルと因果 (狩野裕、大阪大学)  
構造方程式モデルによる因果関係の発見と検証にかかわる問題点の整理と実践へのアドヴァイス。
4. (14:30～15:30) 確率ネットワークと因果 (黒木学、東京工業大学)  
確率ネットワークモデルによる因果関係の抽出、介入効果との関係

(休憩後 ～16:30) 総合討論

**【参加要領】** このテーマに関心を持つ、あらゆる分野の方の参加を歓迎します。予約等は必要としませんが、準備の都合上、企画者(繁榎算男)までファックス(03-5454-6979)、電子メール(kshige@bayes.c.u-tokyo.ac.jp)等で連絡していただければ幸いです。